

平成23年度第1回理事会

日時 平成23年5月14日(土)15:00～18:00

5月15日(日)9:00～12:00

会場 香川県立高松工芸高等学校

(香川県高松市番町2-9-30)

- 1 司会進行 堤谷 孝章
- 2 参加者 高松 彰・井上 正継・坂井田 米治・早川 誠司・今井 喜代治
折本 裕樹・大野 直志・中村 雅章・中田 将次・月成 憲一
堤谷 孝章 以上11名
- 3 部長挨拶 高松 彰
- 4 議長選出 恒例により部長が担当
- 5 議題

(1)新役員について (理事長)

理事長の報告通り承認

※その他 都道府県委員長の変更が8都道府県報告された。

ア 部会名称 強化について

平成23年2月に開催された、全国専門委員長会議において廃部原案が出されたが、継続審議となった。4月に理事長から強化育成との名称案が配信されたが、部会についての改廃等は規約により、8月インターハイ時に開催される専門委員長会議へ再提案する。

高体連トップ選手の選手強化が不要でなく、JCFジュニアとして人・物・金が潤沢なJCFで行う。重複する一部選手のために加盟費収入が大部分の高体連が行うには限界がある。

イ 23年度JCF役員の変更

JCF常務理事 坂井田 (強化・アンチドーピング)

理事 中 田 (強化)

中 村 (競技運営)

JCFジュニア部会 坂井田・中田・大野・折本・山本 (以上高体連)

柿木 (ロード) 田畑 (競輪学校)

同部会支援スタッフ 斑目・田中・百々 (以上高体連)

佐藤 (前ジュニアコーチ)・山脇 (メカ)・塩原

(2)平成22年度全国高体連自転車競技専門部事業報告 (事務局)

事務局の報告通り承認

(3)平成22年度全国高体連自転車競技専門部収支決算報告 (事務局)

事務局の報告通り承認

(4)平成23年度全国高体連自転車競技専門部事業計画 (事務局)

事務局の報告通り承認

※追加事項

ア ブロック大会日程

- ・東北 T 6/17(金)・6/18(土)八戸競技場(青森県八戸市)
R 6/19(日)青森県八戸市階上町周辺特設ロードコース
- ・九州 T 6/17(金)～6/19(日)別府競輪場(大分県別府市)
R 6/20(月)大分県スポーツ公園特設コース

イ 平成23年度全国高等学校選抜自転車競技大会

- 開会式 3/22(木)
- 競技 T 3/22(木)～24(土) R 3/25(日)
- 閉会式 3/25(日)

ウ ブロック合宿日程

- ・九州 7/25(月)～7/27(水)武雄競輪場(佐賀県武雄市)

エ 全国合宿

当初廃止予定であったが、CSC250m ドーム完成から利用促進

12月に参加希望者を集めて開催予定

オ 全日本ステージレース in いわて

9/1(木)～4日(日) 岩手

全国18チームブロック選抜 女子2チーム

※同期日インカレ開催に伴い、競技運営・女子チーム派遣等高体連が中心として行わざるを得ない。

(5)平成23年度全国高体連自転車競技専門部収支予算案 (事務局)

事務局の報告通り承認

(6)平成22年度全国高等学校選抜自転車競技大会について(理事長・総務部会)

理事長及び総務部会の報告通り承認

(7)平成23年度全国高等学校選抜自転車競技大会について(総務部会・技術審判部会)

理事長及び総務部会の報告通り承認 ※この件は別途詳細

- ア 閉会式 菊鹿公民館で行う
- イ 個人ロードレースの走行距離について コース確定後決定
- ウ 特別参加枠について 若干緩和措置をはかる
- エ 競技別参加制限について 女子TT、IP当該リザルト提出を追加
- オ 参加申し込みについて 当該リザルト提出を追加

(8)平成23年度全国高等学校総合体育大会について (総務部会・技術審判部会)

開催順状況報告(総務部会)

- ア 審判団について ※この件は別途詳細

- ・現在実行委員会よりの調査を受けて、30名、未定者6名
(同時期ユニバーシアード開催のため、学連審判団不参加)
あと、5名程度関東地区等近県から要請したい。
- イ 今後の課題 震災の影響について
 - ・計画停電(実施される・されないなど確認が必要)
 - ・医師会からの協力が不明確
 - ・岩手開催のヨット競技引き受けの為、県予算1割カット
- ウ 女子エキシビジョンレース実施について
 - ・JOCカップから選考種目名称について全国高体連から指導あり、指導を受けながら公開競技その他検討を進める。
- エ JADAからの依頼について ※この件は別途詳細
 - ・日本アンチドーピング委員会から普及・啓蒙事業として秋田インターハイ時ブーステントを設けたい。全国高体連としてドーピング検査は実施しない。
(個人情報保護・経費の問題)
- (9) 東日本大震災における各県の被災状況と今後の対応について (総務部会・事務局)
 - ア 競輪場・競技場の被災状況調査(報告を受けた中で)について
 - ※この件は別途詳細
 - ・泉崎競技場(福島)新庄市競技場(山形)は使用不可能(予選会開催)
 - ・その他は修理完了・修理予定
 - イ 全国高体連会長名で震災に伴う転校等への対応 ※この件は別途詳細
 - ・今のところ県委員長からの報告なし
 - ウ 山形県競技場の被災から別会場での予選会について
 - ・自転車専門部長名で実施の依頼文書を山形県高体連に送付
 - エ 義援金額について ※この件は別途詳細
 - ・専門部独自の義援金額17万5千円
 - ・全国高体連が窓口(強制でも依頼もないがとりまとめる)6月締め切り
- (10) ロード用自転車の仕様について (総務部会)
 - ア 自転車加害者となるケース
 - ・登録母体である高体連としての指導・対応が待ったなし。厳密言えば道路交通法違反、その事が裁判等でも不利益
 - ・練習中ではもとより、レース中も義務付けるか?義務付けをすれば啓蒙は進む。
 - ・新たに購入、見た目の問題、装着可能であるか?顧問の意識も低いのではないかな
 - ・部長名で依頼文送付(ライト・ベル・反射鏡をつけて練習を促す)
 - イ 賠償保険の加入 ※この件は別途詳細

- ・対人・対物賠償の高額保険は現在、発売されていない。

保険商品を作成して貰い、参考見積もり書を配付

1500名加入，対人・対物賠償 5000万→年間 1300円，1億→1400円

次回の全国専門委員長会議へ提案，承認されれば次年度から加入を目指す

(11) 各専門部会より (総務・技術審判・強化育成)

(総務部会より)

ジャージ登録について 今年度版を近日中にHPにアップ予定

(技術審判部会より)

500走路おける750mTSP実施について

- ・今年度より関東ブロック大会にて実施予定

(12) JCF関係 (理事長)

ア トラックジュニア・ギア制限の改正意向

- ・次年度に向けて上記についての撤廃・緩和とうの改正作業をJCFで進めている。窓口は中田先生。技術審判部会のみならず，広い意見を集めたい。

イ 全日本ロードについての申し込み方法変更と諸注意 ※この件は別途詳細

- ・資格獲得大会の資格基準を満たしている選手については高体連からエントリー可能。重複エントリーに注意のこと。(都道府県委員長あて文書)

(13) その他

7 報告事項

(1) 各専門部会及び事務局より 他

(技術審判部会より)

ア インターハイ種目の見直しについて

- ・4km速度競走のあり方
- ・女子種目を真剣に考える
- ・制限タイムを厳しく？緩和？どちらがよいのか意見を出してもらいたい
- ・シクロクロス、マウンテン競技、オムニウム等の種目の導入
- ・IH出場数500→450～460人とどまる・・・
ポイント、スクラッチ等の参加制限を増やす？

イ 2011年ルールへの解釈と対応について (ルールブック参照)

- ・P.13 第6条 2 (2)
- ・P.13 第8条 6
- ・P.61 第66条 3 1/4決勝1回戦制
- ・P.78 第84条 3 (1)

上記事項について，ルールブックに記載はされていますが，事例や具体的な対応をインターハイ，全国選抜大会でどのように運用していくか。

ウ UCIルール改正依頼について

- ・サドル位置のBB垂線5cmは日本人（アジア）選手には不利である。ルール改正依頼はできないか？
- ・国内特別規則を設ける？

（理事長より）

- ・指導者指導書の作成（初めて顧問になった先生に対して）
- ・競技によってはIHで指導者講習会を開いているようだ
自転車競技でもやってみては？日程がタイトで難しい？